

武蔵野市 Sports for All 情報 Monthly News (2018年10月)

今月の一押し

Sports for All パラ・フェスタ を開催しました

9月1日(土)に開催した「Sports for All パラ・フェスタ」では、585名の方に来場いただき、盛況のうちに終えることができました。盛りだくさんの内容で実施した今回のイベントを、振り返ってみたいと思います。



ブラインドサッカー(左)と、視覚障害者マラソン(下)体験の様子。目隠しをして体験します。



盛りだくさんの体験教室

かけっこ、スポーツ義足、視覚障害者マラソン、ブラインドサッカー、卓球、ボッチャと盛りだくさんの体験プログラムを実施しました。参加した子どもたちは熱心な表情で競技のコツや面白さをゲストから聞いていました。

ブラインドサッカー体験ではアイマスクをつけていてもボールをしっかりと止めることができたり、視覚障害者マラソン体験では声を掛け合ってターンすることができたり、普段なかなか経験することができない競技体験を通して、パラアスリートの感覚を体験していただきました。

ゲストトークでは、スペシャルゲストである元女子体操日本代表の田中理恵さんをはじめ、豪華ゲストが勢ぞろいし、オリンピック・パラリンピックについてトークを行いました。

田中理恵さんからは、オリンピックとしての経験や東京2020大会の招致のお話を、パラアスリートの吉田信一選手と高橋和樹選手からは2016年のリオパラリンピックでの経験と2020年に向けた思いを、田中章仁選手と青木洋子選手からは、市内小中学校での授業支援についてもお話をいただきました。さらに、強化合宿で来日中のエルサルバドルのパラアスリート3名にも抱負を語っていただきました。

トークの前には、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたカウントダウンボードもお披露目されました。現在は市役所1階ロビーと、JR吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵境駅の三駅に設置しています。

豪華ゲストのゲストトーク



トークイベントの様子

白熱の「ボッチャ武蔵野カップ2018」



優勝したエルサルバドルチーム

午後は、初の市主催ボッチャ大会「ボッチャ武蔵野カップ2018」を開催しました。家族や職場、地域で活動されている方々のチームなど、個性あふれる32チームが熱戦を繰り広げました。

「BOCCIA TOKYO CUP 2019」への出場権をかけて争われたこの大会は、エルサルバドルチームが抜群の集中力を発揮して見事優勝、出場権は準優勝の「劇団中野」チームが獲得となりました。

当日会場では、サプライズで来場いただいた日本のエース廣瀬選手と、エルサルバドルのレベッカ選手によるエキシビジョンマッチも行われ、世界トップレベルの技に参加者が釘付けになる場面もありました。

こちらも活躍しました！

武蔵野市スポーツボランティアHANDSとジュニア特派員

Sports for All パラ・フェスタは、東京2020大会等武蔵野市実行委員会の取り組みとしてスタートした武蔵野市スポーツボランティア「HANDS」と、ジュニア特派員のデビューイベントでもありました。

HANDSのメンバーは、大会運営のサポートとして来場者をもてなし、ジュニア特派員は体験プログラムやボッチャ武蔵野カップの取材、ゲストインタビューを行いました。

「来場者を笑顔に」、「イベントやアスリートの魅力を多くの方に」それぞれが目的を達成し、充実した一日となりました。



イベントポスターの掲示にご協力いただいたJR吉祥寺駅・三鷹駅・武蔵境駅さま、関東バス(株)さま、当日のイベント運営にあたりご協力いただいた(一社)日本ボッチャ協会・横河レンタ・リース(株)の皆さま、ジュニア特派員取材にご協力いただいた武蔵野市コミュニティ研究連絡会の皆さま、体験、トークイベントに協力いただきましたゲストの皆さま、ありがとうございました。

「武蔵野市 Sports for All 情報 Monthly News」では、月に一回、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に関する情報、市の関連イベントなどをお知らせします。

さらにタイムリーな情報については、以下のfacebookページをご覧ください。

facebookページ「武蔵野市Sports for All情報」 <https://www.facebook.com/musashinoolypara/>



エルサルバドルの選手たちが市長に会いに来てくれました

8月29日(水)から9月6日(木)まで、武蔵野市を中心に強化合宿を行ってきたエルサルバドルのパラリンピック候補選手3名がコーチと一緒に、市長に会いに来てくれました。

ボッチャ、陸上、卓球、それぞれ有意義で充実した練習ができた、満足気に報告してくれました。

合宿期間中、選手たちは、練習の合間に市のイベント「Sports for All パラ・フェスタ」に参加したり、市内の小中学校に訪問するなど、多くの子どもたちと交流を図ってくれました。

武蔵野市の子どもたちにとっても、普段会うことの少ない外国のパラアスリートとの交流は、多くの気づきや学びがあったようです。

今回の合宿の成果が、2020年の東京パラリンピックにつながり、最高のパフォーマンスが発揮できるよう願っております。東京2020パラリンピックは、エルサルバドルにも注目しましょう！

イベント当日の運営および通訳にご協力いただきましたエルサルバドルのパラアスリートを応援する会の皆さま、ご協力ありがとうございました。



9月6日(木)の表敬訪問(左)と、エルサルバドル人選手による、学校授業支援の様子。

陸上



ボッチャ



卓球

Sports for All カヌーを開催しました

9月17日(祝・月)に、武蔵野プールで「Sports for All カヌー」を開催しました。当日受付の「ちょこっとカヌー」と、事前申込の「カヌー体験」に、昨年を上回る571名の方にご参加いただきました。

「ちょこっとカヌー」は、多くの家族連れや子どもたちで盛り上がりました。小さなお子様と一緒に乗って楽しそうにパドルを漕ぐ親子、一人で乗って落ちないように真剣な様子の未就学児、子どもより大きな声ではしゃぐお母さんやお父さん。たくさんの笑顔と、笑い声が会場内を包み、とても賑やかな雰囲気となりました。

「カヌー体験」では、大きな50mプールでパドルの持ち方、漕ぎ方といった基本から、まっすぐ進む練習やボールを使った簡単なゲームまで行い、カヌーの魅力をつぶり味わってもらいました。普段なかなか経験することのないカヌーに最初は戸惑いながらも、最後には参加者同士で声を掛け合い、子どもも大人も一緒に楽しんでいる様子を見ることができました。

その他、指導にあたってくださった東京女子体育大学カヌー部の学生により、オリンピック競技でもあるスプリントのデモンストレーションを目の前で披露いただくなど、オリンピック気分も味わっていただきました。簡単に乗りこなすアスリートの凄さと、体験を通して感じた

競技の魅力や難しさを知っていただくことで、カヌーという競技に関心を持ち2020年も応援してもらえたら嬉しく思います。

この日も武蔵野市スポーツボランティアHANDSとジュニア特派員が活動しました。当日の様子はJ:COMのデイリーニュースやシティーニュースでも放映されています。J:COMのアプリ「ど・ろーかる」で見ることができますので、ぜひご覧ください。



カヌー体験



当日受付のちょこっとカヌー

イベント運営にあたりご協力いただきました本田宗洋教授、東京女子体育大学カヌー部の皆さま、ご協力ありがとうございました。

視覚障害者5人制サッカーと視覚障害者マラソンの授業支援を行いました

9月18日(火)に第二小学校で視覚障害者5人制サッカー、視覚障害者マラソンの体験学習を行いました。講師は市在勤の田中章仁選手(視覚障害者5人制サッカー)と青木洋子選手(視覚障害者マラソン)です。

視覚障害者5人制サッカーでは、最初にペアで行う体操をアイマスクを使って行い、身体の動きを声だけで伝えることにチャレンジしました。子どもたちは上手く伝えられないもどかしさを感じながら、一生懸命に表現の工夫を試みていました。また、ドリブルではボールを見失ってしまった時に、まわりからの声掛けと指示で、シュートまですることが出来ました。

田中選手のボールが足に吸い付いているようなドリブルに、子どもたちも驚いていました。

視覚障害者マラソンでは、アイマスクを使用して障害物を乗り越えることにチャレンジしました。こちらも声で状況を伝えることが難しく、コミュニケーションと相手を信頼することの大切さを学びました。最後に青木洋子選手の伴走を体験した子どもたちは、しっかりと声で状況を伝えられるようになりました。

市では、引き続き市立の小・中学校を対象に、パラリンピックの体験学習を支援していきます。

田中選手、青木選手をはじめ、授業支援にご協力いただきましたNTTクラリティ株式会社の皆さま、ありがとうございました。



授業支援の様子

特集：武蔵野市と日本武道館

記事作成・写真提供
学校法人東海大学望星学塾 山口輝義氏

1964年に開催された、東京オリンピック。その際に建設され、多くの人々に知られる日本武道館は、武蔵野市在住の故 松前重義氏（※文中敬称略）によって進められました。

現在の私達にもなじみ深い日本武道館と、武蔵野市のかかわりについて、「武蔵野市Sports for All 情報」フェイスブックページにて、全4回の連載記事を掲載しました。その内容を、特集としてご紹介します。

日本武道館



◆「日本武道館と青少年育成」

北の丸公園にある日本武道館は1964年の東京オリンピックに向けて建設され、初めてオリンピック種目になった柔道競技の会場になりました。他の競技との共有施設や仮設施設はなく、武道の専用施設で開催されたことは、無差別級で外国人選手が金メダルを獲得したことと併せ、柔道国際化の大きなきっかけになったと評価されています。何故なら、「日本武道館」には「思想」があるからです。

日本武道館の建設は、武道を愛好する超党派の国会議員によって提案されました（衆参両院700名の議員のうち525名が署名）。そこには単なる競技としてではなく、戦後の日本において、「武道を通じた青少年の健全育成を」との教育的な願いがこめられていました。この国を挙げたプロジェクトは、武蔵野市西久保在住の松前重義（故人・当時衆議院議員）のリーダーシップで行われました。あまり知られていない、日本武道館に携わった人々の思いと合わせ紹介します。

◆「松前重義と山田守」

日本武道館の建設には1年という限られた工期を含め、幾つかの問題がありました。特に「どんな施設にするか」「誰が設計するか」、それがいかに大きな課題だったかは新国立競技場をめぐる紆余曲折を見れば想像できます。現在、誰もが容易に思い浮かべることが出来るあの姿をデザインしたのは、山田守という建築家です。山田は東京帝国大学卒業後、通信省に入省。東京通信病院など、電信・電話局関係の建設を手がけました。聖橋（御茶ノ水）や京都タワーも山田の作品です。

旧松前重義邸



山田守博士
(1894-1966)



（財）日本武道館副会長として建設の陣頭指揮を執った松前も通信省出身。法学部が優先される当時の官僚制度に疑問を呈し、同じ考えの技術者をまとめるリーダーで、山田は戦前からの同志でした。奈良や京都の古刹も研究した山田は、法隆寺の夢殿を模し、方位を重視した八角形の建造物を設計しました。周囲に美しく同化した銅葺の屋根は、富士山の裾野を取り込んだものです。雄大な武道の殿堂は、日本の文化と自然の象徴といえるでしょう。生前、山田が設計した個人の居宅は4棟。その一つが市内西久保一丁目に残る旧松前重義邸です。

◆「松前重義と武蔵野市」

松前は新しい通信システム研究のため1933年にドイツ留学を命ぜられ、欧米諸国を視察して帰国。資源に乏しい日本が諸外国と戦争をすることが不可能なことを、科学的な根拠を示しながら訴えました。これが東条政権に睨まれるきっかけとなり、懲罰召集を受け、一兵卒として南方の戦地へ送られました。しかしながら事情を知る人々の判断により九死に一生を得て帰国。



グリーンパーク野球場

戦後は「公職追放令」に該当し、約5年間、社会的な活動が出来ず武蔵野市の自宅で過ごしました。

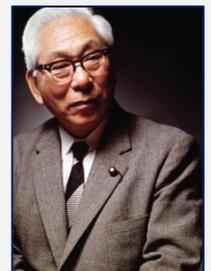
現在市役所がある辺りは、戦中、「中島飛行機武蔵野製作所」という国内有数の軍需工場があった場所です。米軍機から集中的に爆撃され、戦後は接收・解体されました。跡地利用のリーダーに担ぎ出された松前は野球場建設を提案し、プロ野球の試合が開催されました。また、松前はシリコンバレーのような地域開発をも構想。軍需工場だった場所が、戦後大転換し、総合体育館や電気通信研究所など、スポーツ・文化の中心地へと変わっていったのです。

◆「1964と2020をつなぐ日本武道館」

日本武道館はビートルズ日本公演（1966年）をきっかけに、多様な文化活動の場として発展しました。

そのことに対する批判も受けましたが、（財）日本武道館会長だった正力松太郎も松前も、もっと大きな視点からその役割を考えていました。松前は戦争での実体験から、異なる思想・文化を理解し受け入れることの重要性を認識し、武道を通じて国際的に活躍する青少年を育成することが、国際平和構築につながるの信念を持っていました。1975年会長に就任した松前は、1991年に亡くなるまでその職にあり、千葉県にある国際武道大学の建学にも尽力しました。日本武道館設立から約30年間リーダーシップを発揮したことになります。

松前重義博士
(1901-1991)



武道は、いまや国際的な普及をみて、世界の人々を結びつけています。昨年は武蔵野市がホストタウンになっているルーマニアの柔道チームも私達の町を訪れました。日本文化を表現した建築物として国際的にも高い評価を得ている日本武道館は、再びオリンピック・パラリンピックの競技会場になります。

これを機にその歴史と携わった人々の思いを振り返り、2020年を迎えましょう。

東海大学望星学塾でこのテーマを深く掘り下げた講座が開催されますので、ご紹介します。

■講座名：第429回望星講座「松前重義と日本武道館」
～1964年から2020年へ 武道のこころとかたち～

■主催：学校法人東海大学望星学塾

■日時：平成30年10月27日（土）午後2時～午後3時30分

■会場：学校法人東海大学望星学塾
（武蔵野市西久保1-17-1）

■受講料：500円

■内容：

・『「日本武道館」の建築的価値について』講師 大宮司 勝弘 氏
・「国際友情の大道を築こう」講師 橋本 敏明 氏

■申込み・問合せ：事前申込み制

申込み方法等詳細はホームページを
ご参照ください。

<https://www.tokai.ac.jp/bosei/>



2020年に向けて「MY SPORTS 1 MINUTE MOVIE」を作成しました

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた武蔵野市実行委員会の「スポーツ・健康分科会」の取り組みとして、各所属団体が、市内のスポーツを盛り上げる動画『MY SPORTS 1 MINUTE MOVIE』を順次作成しています。

その第一弾として、武蔵野東学園様より、観る人の顔がほころぶ映像が届きましたので、ご紹介いたします。是非ご覧ください。

東京2020大会やラグビーワールドカップ2019に向けたワクワクと、スポーツの楽しさを感じてもらえればと思います。

○武蔵野東学園 MY SPORTS 1 MINUTE MOVIE
<https://www.youtube.com/watch?v=zkazWc8BPxE>



ご協力いただきました武蔵野東学園さま、ありがとうございました。

市からのお知らせ

第22回日本シッティングバレーボール選手権大会が武蔵野市で開催されます

今年12月に武蔵野総合体育館で日本シッティングバレーボール選手権大会が開催されます。当日は、ぜひ多くの方にご来場いただき、パラリンピックを目指す選手に声援を送っていただきたいです。皆様のご来場をお待ちしております。

- <開催概要> ■日程: 12月8日(土)、12月9日(日)
■会場: 武蔵野総合体育館
■観戦: 両日とも直接会場へ



— 昨年の様子

当市ゆかりの選手情報

アジア大会

8月18日(土)～9月2日(日)の16日間、インドネシアのジャカルタを中心に第18回アジア競技大会(以下、アジア大会)が開催され、武蔵野市の応援するゆかりの選手たちが出場しました。その活躍も含め、武蔵野市ゆかりの選手たちの活躍を一挙にご紹介します!

●岩淵 真奈選手(サッカー)【市出身】

女子サッカーで日本チームが見事優勝しました。岩淵選手はフォワードとして、日本代表の優勝に貢献しました。

●石川 恭子選手(ソフトボール)【藤村女子中学・高等学校出身】

ソフトボールで日本代表が優勝しました。藤村女子中学・高等学校出身の石川選手は大会で内野手を務め、優勝に貢献しました。

●玉置 桃選手(柔道)【藤村女子中学・高等学校出身】

女子柔道の57kg級で玉置選手が見事優勝しました。玉置選手も市内の藤村女子中学・高等学校出身の選手です。玉置選手の今後の活躍にご注目ください。

●鍋島 莉奈選手(陸上)【市在勤】

陸上女子5000mで、鍋島莉奈選手が15分40秒37で4位に入賞しました。

●吉田 拓馬選手【市在勤】、有馬 優美選手【市在住】、青木 美友選手、泉尾 麻貴子コーチ(水球)【藤村女子中学・高等学校出身】

吉田選手の出場した水球男子で2位、有馬選手、青木選手の出場した水球女子で日本代表チームが3位に輝きました。泉尾コーチは女子代表チームのコーチとしてチームを支えました。

3名の選手は、10月8日(月・祝)に市内で開催される「Sports for All 水球」にもゲストとして来場いただき、ゲストトークやアクアゲーム、試合のデモンストレーションに参加いただきます。ぜひご来場ください。

●青木 洋子選手(視覚障害者マラソン)【市在勤】

8月26日(日)に開催された「北海道マラソン2018」で、青木洋子選手がIPC(国際パラリンピック委員会)登録の部女子で、みごと2位に輝きました。

●横河武蔵野アルテミ・スターズ(女子ラグビー)

武蔵野市を拠点に活動する、女子ラグビーチーム「横河武蔵野アルテミ・スターズ」が、10月20日(土)、21日(日)武蔵野陸上競技場で開催される「リージョナルウィメンズセブンズ2018」関東大会に出場します。「リージョナルウィメンズセブンズ2018」の上位入賞チームには、「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ」への入替戦の出場権が与えられます。

6月に行われた関西大会で準優勝し、すでに入替戦出場権を得ている横河武蔵野アルテミ・スターズですが、今回は地元開催とい

うことで、優勝を勝ちとるべく、チームも燃えております。

念願の「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ」出場に向け、多くの方のご来場と熱い声援をお願いします。

○横河武蔵野アルテミ・スターズの公式ホームページはこちら
<https://www.artemistars.com/>

【問合せ】武蔵野市総合政策部企画調整課(オリンピック・パラリンピック担当) 宮本・谷藤

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 電話番号 0422-60-1970 (直通)FAX 0422-51-5638

メールアドレス SEC-OLYPARA@city.musashino.lg.jp

※「武蔵野市 Sports for All 情報 Monthly News」を設置・配布していただける施設・店舗・団体を募集しています。ご協力いただける方は、送付先・必要部数などをご連絡ください。